

ウクライナ日本センターのイベントのご紹介

当センターは、独立行政法人 国際交流基金（Japan Foundation）の支援の下、ウクライナの首都キエフで日本語講座や日本文化の紹介などの活動を行っております。

この度、下記のとおり、「リヴィウ市」で日本文化紹介イベントの開催を企画しており、プログラムの一環として、是非、飛田様の作品を展示させていただきたいと存じます。

Japanese Spring in Lviv (仮称)

主催： ウクライナ日本センター NTUU"KPI"

協力： リヴィウ市

開催地： リヴィウ市中心部

開催期間： 2014年2月28日（金）～2014年3月2日（日）

目的： 文化を中心とした日本紹介

参加者数（目標）： 5,000人

プログラム： 展示、講演、デモンストレーション、ワークショップ、「福島・チェルノブイリ」プロジェクト（仮称）、ドキュメンタリービデオ上映

なお、リヴィウ市はウクライナ西部にある文化都市で、日本で言うと、京都のような町です。

旧市街は世界遺産にも登録されており、中世ヨーロッパの趣が残っています。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AA%E3%83%B4%E3%82%A3%E3%82%A6>

今回、プログラムの一つとして「福島・チェルノブイリ」プロジェクト（仮称）を予定しています。

このプロジェクトでは、原発事故を経験した福島・チェルノブイリを中心に、震災被害を受けた東日本の他の地域も含め紹介したいと考えています。

当センターでは、アナスタシアさんというウクライナ人学生が震災後、ボランティアとして石

巻を訪れ撮影した写真（約 20 枚・白黒）を 40cm x 60cm の大きさにプリントアウトし、

これまで様々な場所で展示会を実施してきました。（別添の写真をご参照ください。）

ただ、私（ウクライナ日本センターの担当者）自身福島県出身（旧安達町）ということもあり、この機会に是非、ウクライナの人々に福島の実情についても知ってもらいたいという思いがあります。

また、ご存知のように、ウクライナはチェルノブイリ事故を経験していますので、飛田様の作品を確かな実感とともに受け止めてもらえるのではないかと期待しております。

つきましては、上記趣旨で、「福島のスガタ」の作品の一部をウクライナで展示させていただきたいと存じます。

富岡町・双葉町・大熊町・浪江町の写真を各 10 枚ずつ、計 40 枚ほど展示すれば、日本に関する情報の少ない当地においては、十分意義のあるイベントになると確信しています。